GICSS NEWS

Vol.82

Non-Profit Organization
Guide Interpreting & Communication Skill Studies Association
特定非営利活動法人 通訳ガイド＆コミュニケーション・スキル研究会
創立1999年　NPO法人登記2005年10月
第82号　2021年10月発行

GICSS NEWSはVol.77よりデジタル化され、新年号以外はHP会員専用ページにて配信中。過去の記録はすべてHPに掲載されています。

WOW-U「Omotenashi Online Trip」へ団体参加しました

オリンピック・パラリンピック
来日選手　及び関係者向け特別企画

7月14日～9月14日の2ヶ月間、㈱EXest主催によってメディアでも告知されたプログラムに、GICSSは団体としての参加を表明し、11名の会員がコンテンツを作成し、延べ100名以上の方に視聴していただきました。

柔道、剣道の選手関係者からの要望がきっかけとなり、7月に入ってから緊急決定されたものです。期間中は、会員をはじめ多くの通訳ガイドの方々にもご参加いただき、仲間同士が応援し合う励みの場ともなりました。

テーマは多岐にわたり、最新の新宿ゴールデン街・末廣亭・歌舞伎町やゲゲゲの鬼太郎でも有名な深大寺界隈、京都、広島の豊富な見どころをご紹介するツアー、国宝城巡り、威勢のいい深川の水かけ祭り、工芸作家へのインタビューが貴重なJAPAN BLUE藍染、初めての方でも安心な富士登山、普段見る機会のない神事を映像でも楽しめる神道、茶室からの中継も交えた茶道、動画で紹介する忍者おにぎりの作り方、鶴の折り紙体験と宮島のお話、やりとりが楽しくなる日本語講座、実際に清水寺を歩いて巡るライブツアーも大好評でした。

ほとんどの方がオンラインツアー作成は初体験だった為、団体として受けたからには品質保証を目指し、サポート＆指導担当部門が設置され、30分ミニレッスン実施から始まりました。

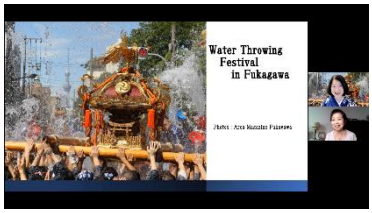
Zoomの使い方や撮影のポイント、ジンバルの使用方法や画面構成など、ツアーの種類に応じてアドバイスを実施。事前のリハーサルも入念に行い、1人1回あたり2-3時間、スクリプト（原稿）の修正をランデル先生、松岡先生が8時間以上かけて行ったこともありました。

始めのうちはツアーコンテンツが集まりませんでしたが、ミニレッスン、リハーサル、WOW-Uへのツアー掲載を繰り返していく中で後半は急激に充実度も増していきました。オンラインツアーの目標の一つに「双方向」コミュニケーションを大切にすることをアドバイスいたしました。

中には、始めのうちは講義のようになって双方向が難しい場面もありましたが、最後の方では各自がさらに練習を重ね、とても自然な話し方（ナレーション）ができるようになった方々も多く、ガイド、お客様共に楽しい雰囲気に浸れました。身についたノウハウを、今後に活かして頂ければと思います。

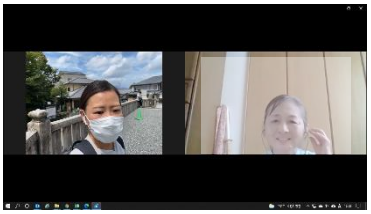


（レポート：Online Tripサポート担当　城戸弘明）











上・Omotenashi Online Tripの様子
（左から吉川奈奈子さん、馬瀬八栄子さん、岡西美由紀さん、菱田啓子さん）
右・番組表：黄色が掲載、赤色が実施ツアー

東京2020オリンピック・パラリンピック 関係業務の現場から

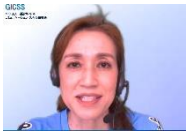
コロナ禍中、暑さの中、キャンセルや急な依頼など、歴史的に悲喜交々の慌ただしいイベントでした。様々な形でオリパラ2020に携わった方々からのメッセージを一部ご紹介致します

ハンガリーのカヌー・スプリントチーム直前合宿同行通訳として参加しました。選手団の来日前に技術スタッフに同行、競技・練習用カヌーの香川県坂出市への搬送、来日した選手団への同行業務、逐次通訳に携わりました。世界のトップアスリートを身近に感じる非常に貴重な経験ができました。本番はネットで選手達を応援し、結果金3個、銀2個、銅1個という素晴らしい結果でした。（福田　誠）

（株）ランデルズにご紹介頂いた「TOKYO2020代替輸送業務」を担当させて頂きました。T-CAT（東京シティエアターミナル）と有明防災公園での、IFとメディアの空港バスからホテルへのタクシーへの乗継のお世話でした。

お客様との短い会話の中にも、多くのガイド仲間と世紀の国家イベントに携わる機会を頂けた喜びをシェアできたことを、GICSS会員として誇りに思います。（神野清司）

オンライン座学C.C.



■ 7/10「 Jリーグ・日本のサッカー」

外国からのお客様に情報をお伝えするとき、ご自身の心に残る身近な体験や思い出をプラスすることで、ぐっと印象深いガイディングになりますよね。

地元のJリーグの地域貢献活動の話、節度ある日本のサポーターの話、子供連れでも楽しめるクリーンで安全な日本のスタジアムの話、敗者を称える日本人の心、日本の部活動、等々、ご自分の言葉で是非お話してみてください。今回のC.C.でも心にジンと伝わるプレゼンがたくさんありました。

皆様もプレゼン力を伸ばす練習と実践の場として、C.C.にご参加されてはいかがでしょうか。

（ナビゲーター：武田恵理）

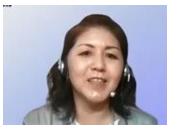


■ 7/21「東北・震災復興Part2 」

日本を訪れるお客様には「FUKUSHIMA」は東京・京都と同じくらい知名度があります。今も帰還困難区域にある双葉町の「東日本大震災・原子力災害伝承館」を訪れた時、語り部の方に「復興は一歩でも進んだ感じがありますか？」とお尋ねしたら「進んだどころか二歩も三歩も後退した感じです」とお答えになりました。目に見える復興と被災された方々の心の復興の違いを改めて考えさせられました。

復興を簡単に伝えることはあまりにも難しいですが、しっかりしたデータと前向きな復興に加え、当事者の思いを共有し伝えることが3本の大きな柱になるのかなと学んだC.C.になりました。

（ナビゲーター：高橋みち子）



■ 9/15「日本の東西文化の違いをガイドしよう -地方による文化の違い-」

日本の東西文化の違いを説明するという題材から、地域ごとの食文化、生活様式、考え方、気質の違いについて、様々なプレゼンテーションがあり、また居住経験者しか知り得ない各地の情報の交換ができました。

ガイドブックには載っていない話題、観点こそがより日本を魅力的に紹介できるヒントと、参加者一同痛感できたC.C.でした。

（ナビゲーター：吉崎圭子）

GICSS検定(GICSS Guide Skill Proficiency Test) 第14回 横浜・鎌倉

■ オンライン勉強会 8/7・21・28 いずれも（土）
■ オンライン審査会 9/10（金）・11（土）

「横浜鎌倉」コースは2017年の第6回以来の久し振りの開催、従って学習内容は5年前と同じということはなく、勉強会では横浜鎌倉に精通した芹田啓子・今井寿美子両コメンテーターから最新情報が惜しみなく伝達され、参加者は今回も独学では得られない、多人数での学びならではの学習効果を実感しました。

「GICSS検定は初めて」という参加者が多数の今回でしたが、GICSS会員にオンラインは定着しており、勉強会・審査会ともに至ってスムーズな進行で終了しました。





～GICSS研究会/CEL英語ソリューションズ共同企画～

通訳ガイドのエンターテイメント性を磨こう -真夏の昼の福笑い - 8/14

なんとなんと、「笑点」(JASRAC許諾済)のテーマ曲に乗って研修がスタートしました！

第1部はランデル洋子講師の講義。ロンドン塔の人気ガイディングを例にあげて分析がされました。

○ 楽しさを倍増させるトークには
　・ジョーク
　・ユーモア
　・ウィット　がある
○ なぞかけの方程式
○ 窮地をウィットで乗り越える3つの方法



等、「笑い」がロジカルに分析された講義に「なるほど」「そう組み立てれば自分も楽しいトークができそう」と受講者の気持ちは大いにアガりました。　（レポート：GICSS NEWS編集部）

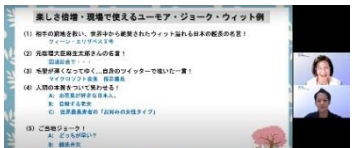
第2部で披露された講師松岡と海老原昌之ゲスト2人の持ちネタやジョーク集、受講生参加の大喜利から一部ご紹介です。

その①よく見かける日本人が書いたおかしな英語、あるある、「Air condition is adjustable in your room. So, if you become too hot, control yourself.」〈もしも暑くなったら、自分をコントロールせよ〉って、折角冷房完備なのに。。。

その②日本の国花は桜、それではWhat is the national animal in Japan？ It's Picachuu！

その③「銀座の土地の値段は日本一高い。最も高いところは1平方メートルあたり約4,000万円、スマホのスペースで40万円、1歩200万円です。具体的な数字で表現すると、真実もジョークになるという例でした。

落語の落ちとパンチラインは同義語。ジョークやウィットあふれるコメントは最大のお客様へのサービス心です。いつもお客様を笑かす“落ち”を考えていれば、そのうち達人になれるはず？なれるかな？なりましょう！



（レポート：松岡明子）

新人研修 9月コース 9/11・12・19

広域的な緊急事態宣言・まん延防止等重点措置の延長の下、5月大阪コース、6月東京コースに続き、今回もバス実習は延期、対面研修もオンラインに切り替えての実施となりました。

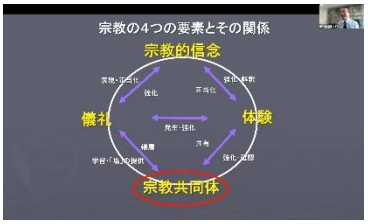
しかしながら、自身のペースで9月を選択された受講生の皆さんより、満を持しての参加に「実際のツアーに沿って、という講義は、実践的で臨場感があります」「オンラインは自宅で1人での受講なので対面より集中力が必要ですが、講師の先生方やスタッフの皆さんの工夫やお声がけで乗り切れました」と、嬉しい声を頂きました。

運営側もオンライン講義のノウハウの蓄積が進み、GICSSのオンライン研修は益々パワーアップしています。



オンライン専門性研修「世界の宗教とその文化的特徴」 9/4

宗教は物事の考え方、生活や文化全体に根源的に影響を与える基本です。お客様の宗教文化背景を理解してこそ、わかりやすい説明や視野の広い対応ができます。本研修では筑波大学名誉教授・特任教授（筑波大学総合学域群群長）/宗教文化教育推進センター事務局長　山中弘氏を講師にお迎えし、以下の各章を講義頂きました。ポイントの一部をご紹介します。





(1) 世界の宗教とその文化的特徴

① キリスト教文化圏：欧米の文化的基礎。信仰は個人の問題とする見解が有力。
② イスラーム文化圏：「聖」と「俗」という区別の否定。個人から社会まで、すべてイスラームの教えが大きな影響力をもつ。
③ ヒンドゥー文化圏：カースト　浄観・不浄観　飲酒をしない人・ベジタリアンの人が非常に多い。
④ 上座仏教・チベット仏教文化圏：国家あるいは地域共同体と仏教の一本化。僧侶が大きな影響力を持つ。
⑤ 大乗仏教文化圏：政教分離を前提にして、信仰は個人の問題。日本を除いて、篤信の信徒が多い(例　台湾)。

(2) 観光中、配慮すべき宗教的事柄とは

○ (神・仏)「像」に対する態度
　否定：イスラーム、キリスト教（プロテスタント）　肯定：ヒンドゥー教、中国の宗教、仏教
○ 戒律に対する態度
　重視：イスラーム、キリスト教保守派、上座仏教、大乗仏教（日本を除く）　柔軟：中国の宗教、日本仏教
○ 男女の分離
　重視：イスラーム、上座仏教、ヒンドゥー教　　柔軟：中国の宗教、レベラルナキリスト教
○ 食事　服装
　ハラール　コーシャ　ターバン　ヘジャブ
○ 礼拝の回数、礼拝場所、礼拝日
○ 安息日：ユダヤ教（土曜日）キリスト教（日曜日）

(3) 日本の宗教事情をどのように説明するのか

○ 日本人の宗教行動―初詣、お墓参り、七五三、仏壇神棚の礼拝など。
○ 供養に対する意識が高い（高野山の参道にある数々の墓石、お百度参りなど）
○ 「神」と「仏」（神社と寺院）の共存と対立の歴史
○ 日本人の宗教意識に影響を与えたものとして
　・寺請制度　・神仏分離　・神道指令　が上げられる。

オプションでは、まず田村聡子会員より「宗教を話題にする際にガイドが注意すべきこと」をテーマに、ベテランならではの経験談が披露、続いてガイド歴50年を誇る谷田悟会員による宗教ガイディング・デモは、まさしく流れるような圧巻の13分50秒でした。最後に受講者参加で早速の宗教トピックガイディングのペア演習を行い、充実の研修が終了しました。

仏教、イスラム教など、それぞれの宗教について学ぶ機会は多いですが、全体を比較して理解する機会は少ないです。宗教に根差した文化を研究し比較する貴重なアプローチが大変わかりやすい貴重な研修となりました。

通訳ガイド団体の連合体設立の動きについて 経過ご報告

2020晩秋より、全国約20のガイド組織によってガイド団体の連合体を設立する動きが始まり、2021年2月より毎月検討会が開催されてきました。10組織（詳細はMLに添付した通り）が設立準備のワーキンググループ（WG）となり、定款など詳細に審議検討を重ね、いよいよ最終段階に入ってきています。しかしながら最終決定の直前にJFG、JGAから不参加表明が出るなど、各組織のおかれた環境や背景状況の差異のハードルが高く、今後の成り行きが注目されるところとなりました。政府に対する要望提出など、やるべき作業に遅れを取ることは望ましくないため、早ければ年内にも任意団体としての設立の可能性が見込まれています。　（ランデル洋子）

通訳案内士賠償保険　新規加入・更新の受付を開始

昨年契約の方の保障期間は2021年11月１日で満期となります。2019年スタートのこの賠償保険の更新、新規加入を受付け中です。

【補償内容】

- **通訳案内業務中の事故補償**：（例）通訳案内中に、お客様にぶつかりケガをさせてしまい治療費を請求された。食品情報を誤って伝えお客様がアレルギーを発症。治療費、損害賠償を求められた。
- **受託物管理に伴う事故補償**：（例）預かったお客様の手荷物が盗難にあってしまった。お客様の携帯電話を誤って落としてしまい、壊してしまった。
- **訴訟対応費用**：裁判になってしまった場合に生じる、応訴のために必要となる経費。（再現実験費、意見書、鑑定書作成費等）
- **初期対応費**：（例）事故が発生した際に、負担する事故現場の保存・写真撮影費用、通信費等の初期対応費用

【保険期間】1年間（2021年11月1日午後4時～2022年11月1日午後4時）
【年間保険料】2,380円　（カード払いは不適用。お支払いは振込にてお願い致します）

コロナ感染が落着けば、待ちかねたタト国人旅行者が訪日してインバウンドの賑わいが戻るであろうと見込まれています。その際には感染グッズの取り扱いを含め、従来よりも保険の重要さが増すことでしょう。いざという時に慌てないで安心して業務遂行していただけるよう、通訳ガイド専用の「通訳案内士賠償責任保険」をお薦めいたします。

Information

2021年10月～ 開催予定研修プログラムのご案内

オンライン座学C.C.
「日本が誇るインスタント食品」
10月22日（金）10:00～12:00
ナビゲーター：福井（ミッキー）道孝



ナビゲーターいち推しのテーマです。世界消費量年間1166億食というメガヒット商品インスタントラーメンを始め、インスタント食品から日本を切り取りアピールしましょう。

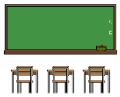
オンライン座学C.C.
「おち（パンチライン）の決め方」
11月13日（土）13:30～15:30
ナビゲーター：海老原昌之

「お客様が笑顔になる」「無愛想なガイドと思われない」等ガイディングの最後にオチをつけるメリットはたくさんあります。Why don't you try?

オンライン
Ian塾　第4期【受付終了】
10月19日・11月2日・16日・30日 いずれも（火）
14:00～16:00　19:00～21:00
講師：Ian Priestly

ガイディング英語力徹底磨きあげコース。第4期のテーマは第2期のリピートです。日中と夜間の2コース。

オンライン座学C.C.
「日本のいろいろな学校」
12月以降（予定）
ナビゲーター：森吉慶輔



習い事の教室、カルチャースクール、自動車教習所・・・、児童生徒が通う学校以外の学びの場から見える日本に挑戦です。

GICSS検定
(GICSS Guide Skill Proficiency Test)
第15回　奈良＋α
・オンライン勉強会：12月（予定）
・審査会：1月（予定）

テーマ地域に初めて「奈良」を取り上げ、有名観光スポット以外に移動の際のガイディング等も学びます。

オンライン地域スポット研修
西日本 第3弾「長崎県」
2022年1月以降（予定）
プレゼンター：吉田英夫



第1弾「島根県」、第2弾「四国（高知県・愛媛県）」が好評に終わり、いよいよ第3弾は、九州に上陸し「長崎県」をテーマにお送りします。

その他、オンライン開催を続々準備中！状況により現場実習も開催したく常に検討しています。最新情報は今後のメーリングリスト、ホームページでご確認下さい。

GICSS会員がつなぐ、リレーエッセイ

リレーESSAY 56

会員の皆様、こんにちは！

鈴木 久子（東京都）

前号中村予至子さんからバトンを受け継いだ鈴木久子です。中村さんとのご縁は、同じ旅行会社の海外添乗員として世界を飛び回っていた？海外旅行全盛時代に遡ります。当時から中村さんは中国語通訳案内士と海外添乗員というリアル二刀流、私の憧れでした。

劇的再会を果たしたのが数年前のＧＩＣＳＳ高野山研修！まだペーパーガイドの私は緊張しながら研修バス内で自己紹介をしたものですが、「鈴木さん！中村です！お懐かしい！」と天の声。これもひとえに弘法大師様、ＧＩＣＳＳのお導きでしょう（笑）。

「旅は感動する自分との出会い」をモットーに３５００日、７０余カ国を巡りました。

トラベルはトラブルを地で行くがごとく、フライトキャンセル、オーバーブッキング、バゲージロスト、ストライキ、ホテル停電、ファイヤーアラーム、大雪、渋滞、迷子、盗難、入院騒ぎーと、紙面が埋まるので止めますが（苦笑）。

幾多の修羅場も後になれば笑い話です。面白いものでトラブル続きのツアーこそ、参加者の団結力も高まり、協力体制は強化され、旅の想い出に花を添えると言うものです。

ツアーは生きもの、それに関わる人々が一緒に作るドラマかと思います。同じ場所、行程であっても季節が違い、メンバーが違えば多様なドラマが生まれます。捨てる神あれば拾う神ありーガイドさん、ドライバーさん、アシスタントさん、オペレーターさん、ホテルスタッフさん、そして何よりお客様に助けられ、励まされました。

「あ～、もう懲りごりだあー」と疲労困憊、這々の体で帰国しても、お客様の「楽しい旅だった、またご一緒したい、ありがとう！」は魔法の一言、疲れが一気に吹き飛んでしまうから不思議です（笑）。

心に残る名ガイドさんとの出会いも数々あります。地方都市ではＥＳＧというイングリッシュ・スピーキング・ガイドが付きます。添乗員が通訳という形でお客様に案内するのですが、それぞれの個性が光ります。ローカルガイドさん方は皆、自分の町村に強い誇りと愛情を持っており、短い時間ですが精一杯その魅力を伝える熱意に心打たれます。

ガイドブックやネットでは得られないトリビアや他愛もない日常の話、美味しいジェラート屋さんを教えてくれたりと、旅は一期一会の毎日です。

異国を知ればこそ、祖国の良さを再認識できます。ガイドを始めて日本がますます好きになりました。素晴らしい想い出を貰った恩返しが出来れば、などと思っております。



☆次回のリレーエッセイもお楽しみに！～会員のご活躍ぶりをご紹介下さい。珍事件、感動秘話、ためになる話・・・なんでも結構です！

＝編集後記＝

●コロナはしぶとい！嫌な物が排除できない場合、どうやって付き合ってゆけば良いかを考えなくてはなりません。感染者数の減少に伴って一部報道されたウイルスの自壊説。そうあって欲しいです（よ）

●自宅は国立競技場から３キロしか離れていないのに、オリパラをはるか遠くに感じて過ごした今年の夏。遠来のお客様のために御馳走を沢山用意していたのに、何も食べてもらえなかった。。。のような残念な気持ちが残ったけれど、感染爆発や大事故が起こらなくて本当によかった。（ま）

●秋分の日も過ぎ、まさしく一日一日秋らしくなっていきます。移動を控えて、せめてご近所散歩でこの季節を堪能するよう努めています。（か）

GICSS
NPO法人GICSS研究会
〒156-0052東京都世田谷区
経堂2-27-23
TEL：03-3706-9861〔代表〕
E-mail：adm@gicss.org
URL：http://gicss.org/ja/